

第6回 地域密着型デイサービス運営推進会議 報告書

開催日時	平成31年3月19日 14:00～15:30
開催場所	桜町高齢者在宅サービスセンター 2F
参加者	ご利用者家族：利用者 ご家族 A様（5回目） 地域住民代表：行政書士 B様 所在地管轄職員：きた地域包括支援センター 職員 桜町センター職員：センター長 認知症対応型通所介護管理者（以下：管理者） 事務員
司会進行	認知症対応型通所介護管理者
書記	事務員
<p>【議事録】</p> <p>1. 開会挨拶</p> <p>2. 平成30年度センター事業の振り返り及び平成31年度について（センター長）※添付資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成を目標に掲げていたが、欠員に対してハローワーク、折込チラシ等で募集しても良い人材は集まらず、インターネットの活用など必要となっている。ナラティブサイトに職員の思いを載せることでも人材確保、育成につなげていきたい。 ・事業計画にも載っている「職員行動指針」を共通認識、理解していけるように、事例勉強会などを通して職員間のコミュニケーションを深めていく。 ・財務安定に関しては、4月の介護報酬の改定や総合事業の報酬が下がったことなどの影響で厳しい状況である。平成31年度は通所介護の利用率の維持・向上を目指し、利用率100%目標利用人数1日30人に取り組む。 <p>3. 認知症デイサービスの活動報告（管理者）※添付資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい特別養護老人ホームへの入所や、入院された方が多く、今年度前半に12名、後半に6名の登録取り消しがあり、利用者の顔ぶれが大分変わってきている。 ・一般デイの利用が難しくなってきた利用者の認知症デイへの移行も見られる。 ・1月から2月にかけての市内特養でのインフルエンザ発症の影響から臨時利用が増え、2月の利用率は72.7%と上がっている。また、一般デイの協力で入浴を積極的に受け入れたこともあり年間を通しての利用率も良くなっている。 ・ケアの内容を充実させ、楽しく過ごして帰ってもらうことによって、家族やケアマネからの信頼を得ることが次の利用につながっていると考えられる。 	

4. 意見交換、その他

- ・ B 様・・・強い要望を持つ職員に対してアドバイスをするというより、傾聴することだけでも意義あるし、その上で環境を変えられるとなお良いのではないかと。
職員がキャリアプランを考えて、他の事業との仕事のローテーションで、ステップアップが可能であれば、モチベーションも上がり、離職をふせぐことができるし、若い人には魅力があると思われる。
- ・ A 様・・・自分の経験から、職員に責任あるポジションを任せたいと思っても、逆に避けたいと考えている職員もいるので、本人の要望を丁寧に聞き、人それぞれの価値観を大切にしながら日頃のコミュニケーションをとることが大切だと思う。
- ・ B 様・・・後見人をしている経験から、認知症の方と程よい距離の関係を取るのには難しい。事業所の雰囲気は人が作るもので、職員の表情が生き生きした、いいサービスを継続していただきたい。また、小金井市におけるヨハネ会に対する信頼度は高いので、地域の先頭としての役割も続けて行って欲しい。

5. 次回開催予定： 2019年9月頃

以下 余白